

お母さん業界新聞 号外

百万人の夢宣言

紙上プレス発表！

皆さんのおかげで
乾杯ウェーブ
68万人を達成！
ありがとうございました
夢隊長・池田 彩



ココからさまざまな事業を起こしていきます。私たちのミッションは、失われた「母時間」を取り戻すこと。共感し合える人、本気の人たちと、たくさんのオモシロイ事業をウミダシしていきます。



乾杯30thのお祝いソバレン



K-PAINTを塗り終え、部屋の空気も、みんなの表情も晴れやかに

ナンカ
オモシロコト

イミアルコト
ウミダス

百万人の乾杯ウェーブ！

報告 1 離れている仲間たちと心をつなぐ、夢に乾杯！
30年前、藤本裕子の自宅スタートしたこの企画。30thの今年は、1人でも多くのお母さんが乾杯し、笑顔になることを願い、百万人を目指して乾杯ウェーブを起しました。残念ながら、百万人は達成しませんが、これからが本当の意味での始まりです。

百万人の夢宣言



とらんとんスタジオ

報告 6 横浜みなとみらいから全国へ、さまざまな情報を配信。キャンピングスタジオには、お母さんや地域の人、企業の社長、有名人など多彩なゲストをお招きし、イイコトと一緒に考えていきます。初回は教育評論家の尾木ママと、人気上昇中の若手アンサンブルユニットのTSUKEMENさんをお招きします。



ワーホプレイスとは？

報告 2 ワーホとはWork（働く）とHome（家庭）をつなぐ場です。もちろん母親にとって究極の「働く」は、子どもを産み育てること。長年「子育て」を追求してきたお母さん業界新聞社は、社会課題を解決する場として多様な企画を立ち上げ、進めています。「企業」と「お母さん」の出会いの場でもあります。



ライブ配信サービス！

報告 7 ライブコマースの動画サイトを立ち上げた、ポポホールディングスは、お母さん大学の趣旨に共感。お母さんたちが発信することは、自身の悩みはもちろん、さまざまな社会課題の解決につながるという期待。チョーアナログお母さん業界新聞と、ITベンチャーの初コラボ。メディアミックスにご期待を。



なんでキャンプオフィス？

報告 3 家具をスノーピークブランドで統一したのは、お母さんたちにゆったりとした「母時間」を提供したいから。アウトドア製品はクリエイティブな発想や円滑なコミュニケーションを生むはず。イスやテーブルは手軽で丈夫。会議やセミナー、スタジオと、室内空間を変幻自在にデザインできるのも魅力です。



海プロジェクト

報告 8 “産み”にも通じ、母と深い関係にある“海”。海を守ることは、子どもの未来をつくること。海が見えるココから、海に関するプロジェクトをスタートします。えほん箱チームが選んだ、海に関する絵本をさまざまな場所に提案していく「海えほん箱」もその一つ。8月号の特集「海と絵本とお母さん」をご覧ください。



MJ48 オーディションと研修

報告 4 オーディションと研修を経て誕生するMJ48（48人のマザージャーナリスト）がそれぞれ“好き”や“得意”を生かし、新しい価値の仕事をウミダします。横浜みなとみらいを中心とする、ホテルやお店、施設などとも連携し、お母さんの視点で未来にいいモノ、コト、サービス等をいっぱい考えていきます。



ウェルビーイングと健康経営

報告 9 理学療法士・伊藤彰浩（メディトレイン）×味噌伝道師・藤本智子（ミソド）×お母さん大学が、産前産後の女性の心と体を元気にする協働プロジェクトを開始。社員のウェルビーイングと企業価値向上の実現を目指し、衣食住から健康を提案する「みなとみらい健康経営まつり」を今秋、開催予定です。



ポップアップスペースでSDGsを提案

報告 5 ワーホプレイスとらんとんは、健康や環境にやさしい珪藻土ペイントと無垢材を使い内装リフォームをしました。今後は「ポップアップスペース」として、お母さんを笑顔にする未来にいいモノや未来にいいコトをしている人を紹介したり、勉強会や研究会、セミナーやワークショップなどを開いていきます。



お母さん業界新聞 DX

報告 10 第2期「お母さん業界新聞」創刊号（2008年）から今日に至るまで、全バックナンバーのデータベースが完成！お母さんによるお母さんのための情報を紡ぐ唯一無二の新聞。今も昔も変わらない“母ゴコロ”を、全国のお母さんに届けたい。たった一人のお母さんのために、永遠不滅の新聞を目指します。



7月30日7時30分
お母さんが夢に乾杯する日
参加人数 **68万人達成！**



ワーホプレイス
とらんとん
OPEN!

ワーホプレイスとらんとん（株式会社お母さん業界新聞社） info@30ans.com
〒220-0012 横浜西区みなとみらい2-1-1 日本丸メモリアルパークタワー棟A 4-5階

本日はどうもありがとうございました

本日は猛暑の中、お集まりいただき、ありがとうございました。「お母さんが夢に乾杯する日」、無事30回目を迎えることができました。これまで一緒に活動してくれたお母さん、活動を応援してくれた方々に、心より感謝申し上げます。今年は、1人でも多くのお母さんに、夢を描き笑顔になってもらうために、「乾杯ウェーブ」を起しましたが、百万人には及びませんでした。けれども7月30日が終わっても永遠に、このウェーブをつなげていきたいと思ひます。また本日、「ワーホプレイスとらんとん」を、皆様にお披露目することができたことを、大変うれしく思います。築30年の部屋に命を吹き込んでくれた、ワンウィル様、ミハマ通商様、民家工房常栄様はもちろん、壁塗りや床張りと一緒に汗をかくてくれたお母さんと子どもたち、このイベントにプレゼントを提供してくれた、小倉屋山本様、辰巳商会様、深田サルベージ建設様、タイキグループ様にも、この場を借りて深く御礼申し上げます。実は、新型コロナウイルスの感染拡大により、直前に参加を断念したお母さんも多く、本人も私も、とても残念に思っています。そこで急遽、紙上プレス発表というカタチで皆様へ、ご報告させていただきました。

コロナ禍に戦争、自然災害と、予測不能な時代ではありますが、こんなときこそ皆でつながり、百万母力で子どもたちの笑顔を守りましょう。お母さん業界新聞社は、ここ、横浜みなとみらいの灯台に、明かりを灯し続けたいと思ひます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

お母さん業界新聞社代表 藤本裕子

